

■「ポール・ハリスの植樹」

＜米山梅吉物語より抜粋＞



来日記念の植樹をする
ポール・ハリス氏

WHAT IS
UMEKICHI
YONEYAMA



奉仕の人
米山梅吉氏

ポール・ハリスが、昭和 10 年 2 月 18 日からマニラで開かれる第 5 回太平洋ロータリー会議に国際ロータリーの会長ボブ・ヒルとともに出席し、その折、日本に立ち寄るとの情報がもたらされた。太平洋の船上からもたらされた情報では昭和 10 年 2 月 6 日から 9 日まで日本に滞在するということがあった。当時のロータリアンにとっては、いわば教祖の来日のようなものである。ポール・ハリスは、気ぜわしい日程のなかで、帝国ホテルの庭に一本の月桂樹を残した。ポール・ハリスは、このような記念の植樹が好きだそうである。月桂樹は、ポール・ハリスの発案になるものであろうか。月桂樹は、日本人にとって一般的ではないいわば洋風のものである。この月桂樹は、戦禍のなかを生き延びた。それでも、時間の経過とともに当時の感慨が薄れ、老いも加わり、昭和 42 年には、氣息奄々という状況であった。帝国ホテルが立て替えを計画し、この月桂樹も取り除かれる手筈であった。

東京クラブの矢野一郎は、これを植え替えてももたないとみて、数百本の挿し木を取って、慈しみ育てた。その何本かが甦った。その一本は、いま記念館の庭に生育している。これについては、後に触れる。ポール・ハリスは、後にこの時のことを回想記に書いている。

「この船には、当時、国際ロータリーの理事で、以前の東京クラブ会長の宮岡恒次郎が乗り合わせていて、その宮岡がつねにそばにいてくれてよかったこと。ホノルルから横浜まで、8日間、天候は荒れ、波は高かったこと。横浜に入港した船の甲板から見た富士山が壮麗であったこと。そして、帝国ホテルでの記念植樹が非常に印象深い儀式であったこと。京都で二条城や樹齢 200 年にもなる桜の木が興味深かったこと。大阪の歓迎会場で、自分の胸像が置いてあるのに一瞬びっくりしたこと。」などなど。このなかで、米山梅吉のことについて、次のような記述がある。

米山とは、このとき初めて会った。昼食時の紅葉館では、その米山がじきじきに私の世話をやき、箸の使い方を教えてくれた。この微笑みを絶やさず、端正な容貌の日本人紳士とのこれが初めての出会いとは思えなかった。その理由は、米山の等身大の青銅の胸像が自分のオフィスにあり、毎日それが目に入っていたからである。ただ、実際の表情豊かな顔は、予想していたより若々しかった。温厚な人柄のおかげで、たくさんの責任ある仕事を抱え込んでも、過度の心労に悩まされることがないのが若々しさの原因らしい。」など。

米山は、前の『ロータリーの創設者 ポール・ハリス』の翻訳のあと、昭和 11 年 3 月、前年出たポール・ハリスの『This Rotarian Age』を翻訳、出版した。題名は『ロータリーの理想と友愛』である。この本は、最初の出版の後、入手できなくなっていた。戦後になって、昭和 30 年 12 月、昭和 42 年 2 月と版を重ねた。

週

報

ロータリーは
機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

ホルガー・クナーク
2020-21年度 国際ロータリー会長

第 2771 号

令和 2 年
10 月 20 日
2020 年
OCT

那覇ロータリークラブ

第 2895 回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	73 名
出 席 免 除 会 員	1 名
出 席 計 算 会 員	72 名
出 席 会 員	36 名
欠 席 会 員	36 名
出 席 率	50.00%

欠席会員名 宮城、中村、梶原、吉村、新垣（豊）、長山、与儀、平良（修）、長嶺（善）、保田盛、喜屋武、許田、國吉、具志堅、今福、渡辺、新垣（安）、宜保、吉岡、井手上、上原（進）、与那覇、上原（修）、真栄城、新垣（竜）、安里（繁）、長嶺（国）、赤嶺、堀川、石垣、下地、佐久本、義元、砂川、中野、坂之上。

ビジター 田畑 静夫 氏・上原 慎次 氏（那覇南）城間 幹夫 氏（宜野湾）

ゲスト・スピーカー 米山奨学生 ジョウンジ さん（韓国/世話クラブ:那覇南）

MAKE-UP 安里（政）、名嘉<第 2 回ガバナー補佐訪問：那覇東/石垣> 安里（政）、名嘉、當間、比嘉<沖縄分区 RLI パートⅢ>

☆プログラム

10 月 27 日（火）

「My-Rotary の登録について」

松元 剛 会報・広報・雑誌・IT 委員長

11 月 3 日（火）休会（公休日）

11 月 10 日（火）

「ロータリー財団月間に因んで」

国際ロータリー第 2580 地区

安里 政晃 地区ロータリー財団委員③

11 月 17 日（火）

「野生司 義光 ガバナー公式訪問」

会長・幹事との打合せ 10:45~11:15

クラブ協議会 11:15~12:15

那覇 RC・那覇南 RC 合同例会 12:30~13:30

会場：パシフィックホテル沖縄 2 階「万座の間」

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西 3-6-1（パシフィックホテル沖縄 1 階）TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 當間 卓 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 比嘉 孝明 副会長/クラブカウンセラー 新垣 淑典
幹事 亀川 偉作 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 真栄城 嘉史 委員 新垣 安仁

■ニコニコ BOX (*^^)

親泊 一郎 パスト会長

9月は入院し、ご心配をおかけしました。クラブよりお見舞いを頂き、恐縮しました。お礼申し上げます。

山城 博美 パスト会長 米山奨学生ジョ ウンジさんの来会を歓迎して。2525。

■亀川 偉作 幹事

日本のロータリークラブ 100 周年おめでとうございます。今後の益々の発展を祈念して、ニコニコ。

■伊志嶺 匡 会員

本日、誕生日を迎える事ができ、48 才になりました。記念品もありがとうございました。

■幹事報告 亀川 偉作 幹事

*明日の宮古島クラブの例会はコロナ感染拡大防止措置の為、臨時休会となりました。

*来週 27 日はガバナー公式訪問前クラブ協議会が 11:30~ございます。既にご案内しておりますが、各担当委員長の皆様はご出欠のご連絡を 10/23(金)までに事務局まで FAX にてご返信下さい。

■(沖縄) 米山奨学事業推進カンファレンスのご案内

日時: 2020 年 10 月 29 日 (木) 15:00~17:00

場所: ホテルロイヤルオリオン 2 階「旭の間」

(那覇市安里 1-2-21 TEL098-862-9039)

登録料: ロータリアンおひとり 4,000 円※クラブでまとめてお振り込みください。米山奨学生: 無料
お願い: 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、代表者 1 名のご参加をお願いいたします。会長、米山委員長、米山カウンセラーでご相談いただき、出席者をお一人お決めいただければ幸いに存じます。勝手なお願いで申し訳ございませんが、ご協力をいただきたく重ねてお願い申し上げます。

*山城博美地区米山奨学副委員長、安里政晃沖縄分区分ガバナー補佐、クラブを代表して、當間会長が出席致します。米山学友のジャスミンさんの講演も予定されております。

■特別会計 2020-21 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX	¥8,000
ニコニコ BOX 累計	¥80,000

■会長報告 當間 卓 会長

*皆さん、こんにちは。今年度、コロナ禍における社会奉仕・青少年奉仕活動と致しまして、先週、琉球新報社で、りゅうちゃんランチサポートへお弁当 800 食分 (40 万円) の贈呈式を行いました。今後、日程を調整し、クラブ会員の企業よりお弁当を購入し、お届けしたいと思えます。

*今年度のロータリー財団地区補助金申請先プロジェクト名: 若者の自立支援施設「侍学園沖縄校」に対するパソコン機器の寄贈は子どもたちを例会へお招きして贈呈式を行う事を予定しておりましたが、コロナ禍の為 10 月 28 日 (水) 13:00~島尻郡八重瀬町在の同校へ、私と幹事、新里社会奉仕委員長、金城社会奉仕副委員長、公共イメージ向上委員長が訪問して行う事と致しました。

*明日 10/21 (水) 14:00 より糸満市立潮平中学校で 2 年生対象の「職業講話」へクラブより、私、幹事、比嘉会長エレクト、松元会報・広報・雑誌・IT/公共イメージ向上委員長、白石武博国際奉仕委員長、中野インターアクト副委員長の 6 名で働く事の意義、自分の職業についての講演をして参ります。来週ご報告させていただきます。

■過ぎし時に敬意を表して:番外編 1

(2013 年 8 月 19 日配信)

「ロータリアンの不平には 3 種ある。その 1 つは、倦 (あ) きる、いっこうにつまらぬと言って出席しない。これはどの団体にもあっていたし方が無い。その 2 は、ロータリーの活動が足りない。もっと社会的にも政治的にも口を出せと力こぶを入れる人で、このため国際ロータリーでは国際連盟にオブザーバーを出すことになった。その 3 は、ロータリーはどこへ行くかと悲観する人であるが、ロータリーは見えないところに仕事があり、目立たないところに妙味がある」(米山梅吉)

■10 月 24 日は世界ポリオデーです。本日のお食事はカレーにし、1 人当たり 500 円をポリオ根絶の寄付と致します。 亀川 榮一 ロータリー財団委員長③

*ポリオとは

ポリオ (急性灰白髄炎) は、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。

5 歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。

ポリオプラス 30 年以上にわたり、ロータリーとそのパートナー組織は、ポリオを世界から根絶する取り組みを行っています。ロータリーの **ポリオプラス** プログラムは、子どもを対象とした大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす、世界で初めての取り組みでした。 **世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)** の中心的パートナーであるロータリーは、主にアドボカシー (政府への働きかけ)、ファンドレイジング、ボランティア動員、認識向上に貢献しています。ロータリー会員は、これまでに 21 億米ドル以上を寄付し、122 カ国、25 億人以上の子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、アドボカシーを通じて各国政府からの 100 億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。

ポリオの現状 1988 年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) を開始した当時は、125 カ国で毎年 35 万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は 99.9% 減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの 2 カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約 1900 万人、命を落とすことのなかった人の数は推定 150 万人以上に上ります。ポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、ほかの疾病 (新型コロナウイルスも含む) の治療と予防にも利用されており、ほかの公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

課題 ロータリーとパートナー組織は、ポリオ根絶の実現に向けて大きく進展してきました。しかし、症例を完全になくすには、さらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、場合によってはワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しています。十分なリソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できると私たちは信じています。

ポリオ根絶を実現するために ロータリーは、ポリオ根絶のために毎年 5000 万ドルを拠出することを目標としています。 **ビル&メリンダ・ゲイツ財団** は、ロータリーからポリオ根絶への寄付に対し、2 倍額を上乗せすることを約束しました。これにより、ポリオ根絶に毎年合計 1 億 5000 万ドルが寄付されることとなります。これらの資金は、根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、啓発用資料のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人がそれぞれに大きな役割を果たします。

活動するロータリー 100 万人以上のロータリー会員が、ボランティアや募金を通じてポリオ根絶活動を支援しているほか、ポリオ感染リスクが高い国々に多くの会員が赴き、予防接種活動に参加しています。また、 **UNICEF (国連児童基金)** などの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因によって隔離された地域で予防接種への認識を高めるための情報資料を作成・配布しています。さらに、ボランティア動員やワクチン輸送など手配面での支援を行っています。

